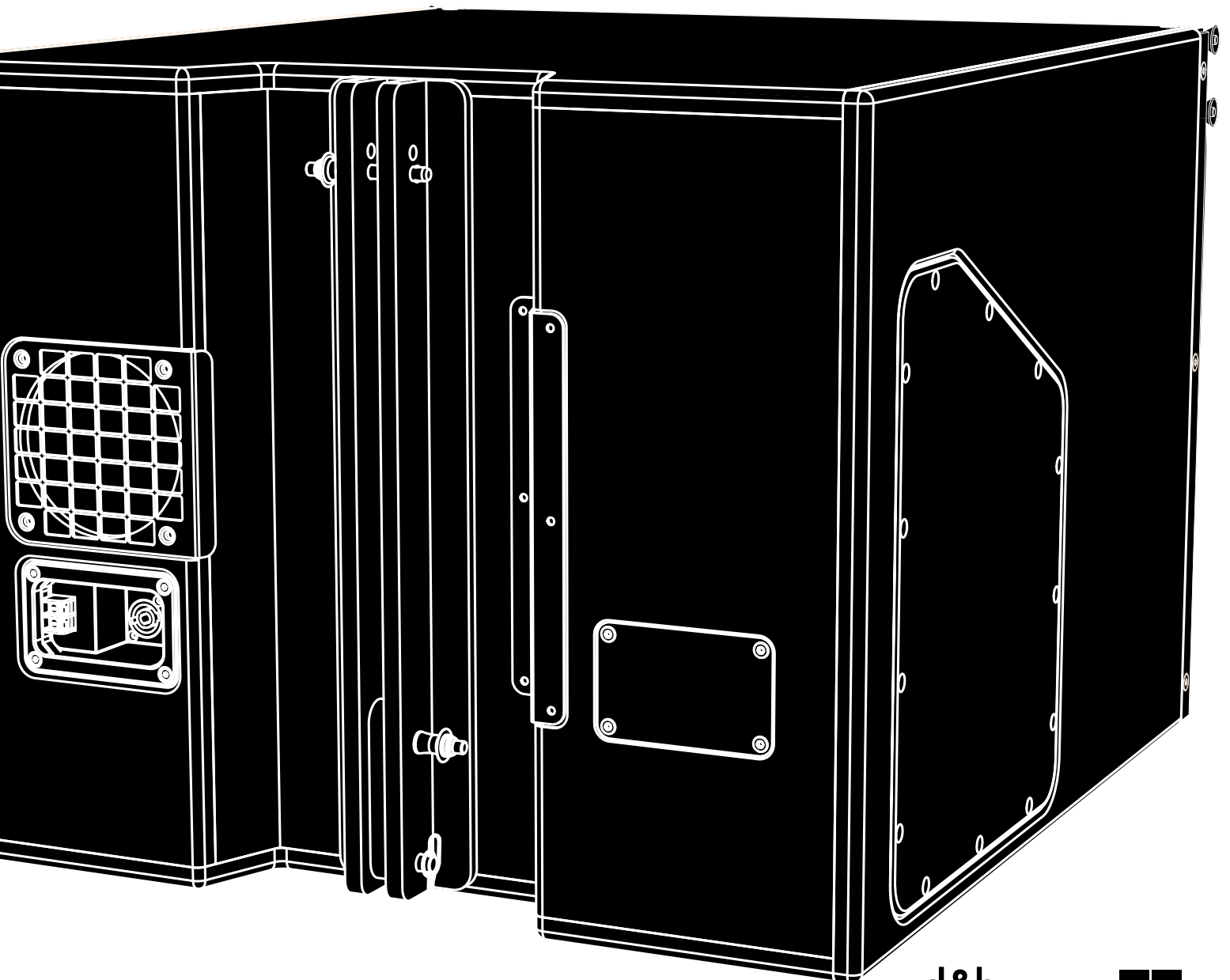


Y

Yi-SUB マニュアル 1.3 ja



概説

Yi-SUB マニュアル

バージョン 1.3 ja, 06/2023, D2714.JP .01

Copyright © 2023 by d&b audiotechnik GmbH & Co. KG; all rights reserved.

本マニュアルは製品と共に保管するか、常に参照できる安全な場所に保管してください。

本説明書の最新版が発行されていないか、d&b ウェブサイトで定期的にチェックされることをお勧めします。

本製品を再販される場合には、製品と共に本マニュアルを販売先にお渡しください。

d&b 製品を販売される時は、お客様に対して本マニュアルを使用前に十分読んでおくことを喚起してください。必要なマニュアルは製品に同梱されています。もし追加のマニュアルが必要な場合には、d&b に注文してください。

d&b audiotechnik GmbH & Co. KG
Eugen-Adolff-Str. 134, D-71522 Backnang, Germany
T +49-7191-9669-0, F +49-7191-95 00 00

目次

1	安全上の注意	4
2	Yi-SUB ラウドスピーカー	5
2.1	製品説明.....	5
2.2	コネクタ.....	6
2.3	使用.....	8
2.3.1	コントローラーの設定.....	8
2.4	技術仕様.....	9
3	製造者宣言	10
3.1	LOUDSPEAKERのEU適合性 (CEマークについて).....	10
3.2	WEEE 宣言 (廃棄について).....	10

人体に傷害をもたらす可能性があります。

大音量で駆動しているラウドスピーカーのすぐそばには決して近寄らないでください。業務用ラウドスピーカーシステムは、人間の健康に害を及ぼす音圧レベルまで到達する性能を持っています。危険でないと思われる音量（約95 dBの音圧レベル SPLから）であっても、長時間さらされていると難聴の原因となる恐れがあります。

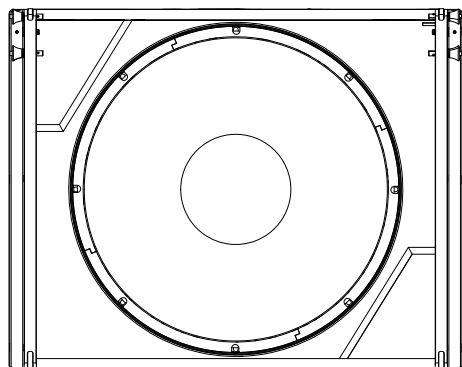
ラウドスピーカーを地面に積んだり、吊り下げたりする作業を行う時の事故を防ぐため、以下の事項に注意してください。

- ラウドスピーカーをスタックしたりスピーカースタンドを設置する時は必ず硬い床面上に設置してください。複数のシステムを積み重ねる場合は、動かないようにストラップで固定してください。
- 仮設置やスピーカーの構成設置に使用するアクセサリは d&b が試験、認証している物のみを使用します。特に弊社「組立の説明書」または「フライングシステムおよびギングマニュアル」に詳細が記載されているアクセサリの正しい使用法および最大荷重量に注意を払って行ってください。
- 固定設備や可動設置使用で d&b 以外の付加的なハードウェアを使用して固定、結束等を行う場合には、全ての該当品が適切なサイズか、安全荷重係数を満たしているかを確認してください。ご使用になる製品の製造者からの取り扱い説明書や安全に関わるガイドラインを必ず参照してください。
- ラウドスピーカーの外観やアクセサリは、目につく磨耗や破損の兆候がないかを定期的に点検し、必要であれば交換してください。
- 機器の荷重を支持するボルトは定期的に点検を行ってください。

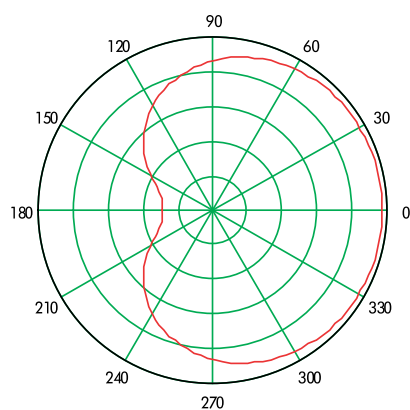
機器の故障を引き起こす恐れがあります。

ラウドスピーカーは使用していない時でも静的電磁場を常に発生します。従って、これらを設置したり、運搬したりする時にはこの磁場によって、損傷や障害を生じる恐れのあるものが機器の近くに無いことを確認してください。従ってラウドスピーカーを組立てたり、移動したりするときは、外部の磁場により欠陥や損の生じるおそれのあるものが、装置や器物の近くにないことを確認します。一般的には磁気データ媒体（フロッピーディスク、オーディオおよびビデオテープ、キャッシュカードなど）から 0.5 m (1.5 ft) の間隔があれば十分です。コンピューターやビデオモニターでは、1 m (3 ft) 以上の間隔が必要な場合もあります。

2 Yi-SUB ラウドスピーカー



Yi-SUB ラウドスピーカー



カーディオイドの拡散パターン

2.1 製品説明

Yi-SUB は、d&bYi-シリーズキャビネットと使用するコンパクトな高性能カーディオイドサブウーファーです。

Yi-SUB には、2 台のネオジウム磁性体を使用した高偏位ドライバーがカーディオイド構成に統合されています。バスレフレックス設計の前向きは 18 インチドライバー、2 つのバンドパスチャンバー設計の後向きは 12 インチドライバーを使用しています。この配置およびチューニングによって、1 つのアンプチャンネルを使用したカーディオイド拡散パターンが可能になります。

周波数特性は 39 Hz から 140/110 kHz です。

カーディオイド拡散

カーディオイドの拡散によって、システム後方への不必要なエネルギーを抑制することで低域の残響音場を減少し、低域再生の正確性を劇的に向上することができます。サブウーファーは単独システムとして、または隣接キャビネットとの最小間隔：60 cm (2 ft)をとったスタックとして、または側面壁とキャビネットの間に使用することができます。壁の前に設置する場合は、壁との最小間隔 30cm (1 ft)を確保してください。

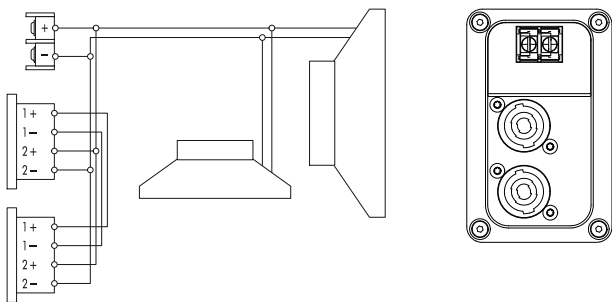
Yi-シリーズのリギングコンポーネントとアレイ

キャビネットは、必要な時に引き出して使用するキャビネット前部両側にあるリギング金具とキャビネット背面の中央にある金具で機械的に連結することができます。必要となるリギングコンポーネントは全てキャビネットに内蔵されており、使用時に開いて、または引き出して使用します。リギングコンポーネントは、Yi-SUB キャビネットを相互につなぐ、またはグランドスタックでの固定にも使用します。

Yi-シリーズのリギングコンポーネントについての詳細は、Yi-マウントフレームに付属されている Yi-シリーズリギングマニュアルに記載されています。

Yi-アレイの設計および計画についての詳細は、Yi-フライングフレームに付属されている技術情報「TI 385 d&b Line array design、ArrayCalc」に記載されています。

d&b ArrayCalc シミュレーションソフトウェアは www.dbaudio.com の d&b ウェブサイトでダウンロード可能です。



コネクターの接続

2.2 コネクター

キャビネットには一対の NL4 M コネクターと 2 個のネジ端子ブロック (ST) が装備されています。双方の NL4 M コネクターの全 4 本のピンは並列に接続されています。キャビネットは 2+/2- のピン配列を使用します。1+/1- ピンはフルレンジキャビネット用です。

耐天候仕様 (WR) のキャビネットには、直付け入力ケーブル (PG タイプ、H07-RN-F、2 x 2.5 mm² (AWG 13)、標準長 5.5 m (18 ft) が装備されています。

対応するピンおよびコネクターは下の表に示しています。

NL4 M	1+	1-	2+	2-
ST	なし	なし	+	-
PG	なし	なし	茶色 (+)	青色 (-)

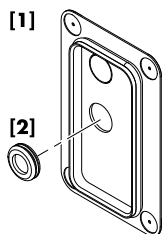
先バラケーブルの接続

Yi-SUB ラウドスピーカーには、カバープレート [1] とゴムグロメット・フィードスルー [2] が取り付けられています。屋内で使用する場合には、コネクターパネルを隠す目的でこれらの部品を使用することも可能です。屋外で何も保護がない環境で使用する場合には、これらの部品でコネクターパネルを保護することが必要です (これを怠ると、保護等級 IP34 を維持できません)。

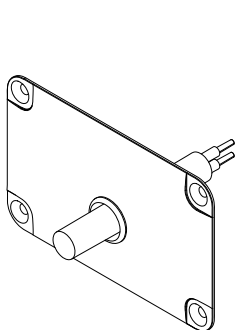
直付けケーブルの設置は以下の要領で行なってください。

必要工具: プラスドライバー (#PH2)

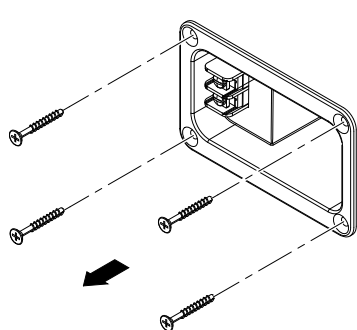
1. カバープレート [1] 上のノックアウト穴を取り外し、ゴムグロメット [2] をはめます。
2. 接続ケーブルをゴムグロメットに通します。
3. コネクターパネル上の 4 個のネジを外します。
4. ケーブルワイヤーをネジ端子に接続します。
⇒ 極性に注意してください!
5. カバープレートがしっかりとハマるまで、これをコネクターパネルの方向へ押しします。
6. 全てのネジを使用してコネクターパネルにカバープレートを固定します。



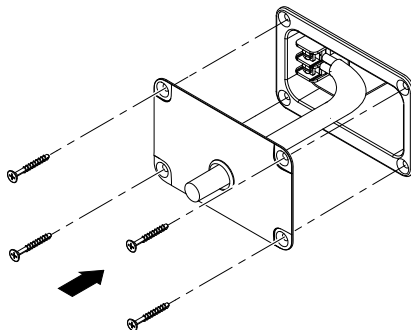
ステップ 1



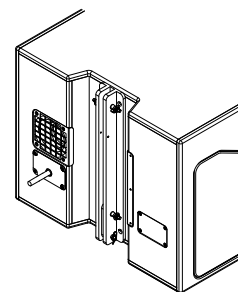
ステップ 2



ステップ 3

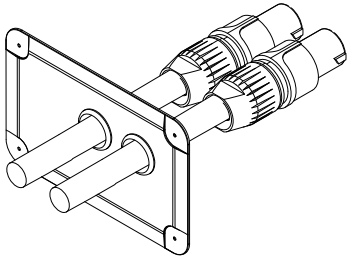


ステップ 4/5



ステップ 6

直付けケーブルの設置



カバープレート[1]との NL4 ケーブル接続

カバープレートとの NL4 接続

キャビネット上のコネクターパネルにある 2 個の NL4 コネクターソケットは凹部に位置しており、カバープレート [1] と NL4 ケーブルコネクターとの 併用が可能となっています (図参照)。

メモ: この場合、Neutrik NL4FC タイプのコネクターを使用することが必要です。

カバーパネルには 2 個のロックアウト穴が装備されており、ラウドスピーカーのデジジーチェーン 接続が可能となっています。

NL4 接続を行なう場合には、前章に記載されている手順で行なってください。

WR オプション (耐天候仕様)

注意!

耐天候仕様の WR オプションの場合、より周辺環境の変化が多い環境でラウドスピーカーを使用することが可能になりますが、屋外で何も保護が無い環境で継続して使用することを保証するものではありません。

- ラウドスピーカーにさらにカバーを取り付けてください。
- キャビネットは水平方向または下に傾けた位置で設置します。

d&b ラウドスピーカーの多くには、異なる設置状況や環境の影響に対応できる様々なオプションがご用意されています。Yi-SUB ラウドスピーカーには以下のオプションが用意されています：

- 耐天候 (WR)：屋外での使用に適したオプションです。キャビネットは、黒の PCP (ポリウレアキャビネットプロテクション) による耐衝撃・耐天候塗装仕上げが施されています。

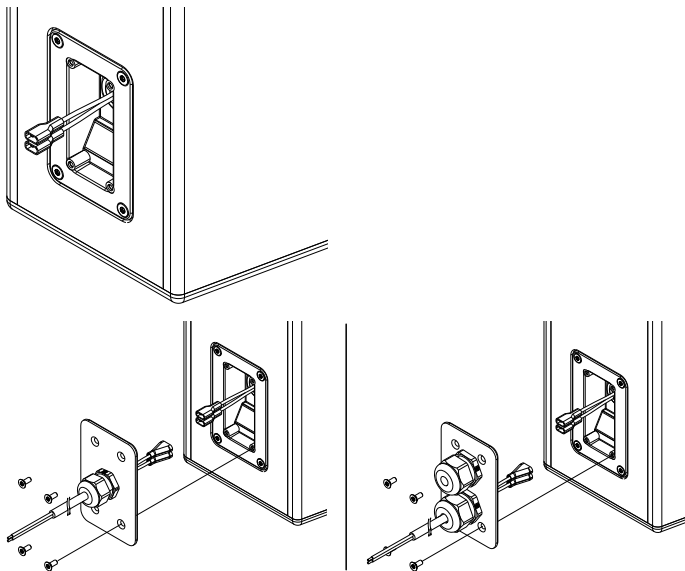
WR キャビネットの窪みにはファストンコネクタ (2 x 6.3 mm, メス) にも対応するコネクタパネルが装備されています。カバープレートは、画像に示されているように、シングルまたはデュアル PG ケーブルグランド (ケーブル直径 6 - 12 mm の PG13.5 タイプ) を受けることができます。

以下の要領で先バラ接続ケーブルを取り付けてください。

必要工具: ドライバー (#T20)

メモ: ケーブルの極性を確認します。
茶色 (+) / 青 (-)。

1. 接続ケーブルを PG のネジ切り部分に挿入し、オスコネクタをメスコネクタに接続します。
2. カバープレートがしっかりとハマるまで、コネクターパネルの方向へ押します。
3. 4 個の皿ねじを使用してコネクターパネルにカバープレートを固定します。



ファストンコネクター、オス、シングル PG (スタンダード)、デュアル PG (オプション)

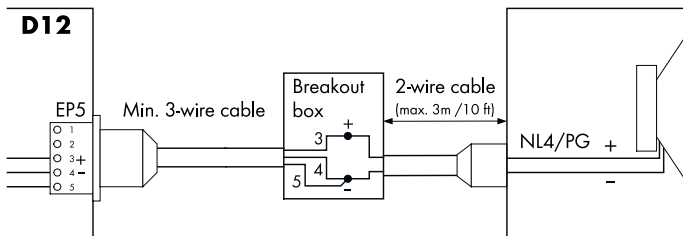
d&b LoadMatch

D80 アンププラットフォーム以降では、LoadMatch 機能によって、使用されるスピーカーケーブルの特性を電氣的に補填することができます。そのための追加導線は必要ありません。このため、LoadMatch は使用するコネクターの種類に関係なく使用することが可能です。

d&b SenseDrive

D12 アンプに搭載されている SenseDrive 機能により、使用されるラウドスピーカーケーブルの特性を補正できるようになります。SenseDrive では追加の導線が必要です。このため、SenseDrive を使用するためには対象のラウドスピーカーを EP5 コネクターと 5 芯ケーブルの接続が必要となります。

メモ: D12 が「Mix TOP/SUB モード」で動作する場合、SenseDrive 機能は、出力 B コネクターでのみ利用できません。



常設で使用している場合、SenseDrive は NL4 コネクターまたは固定ケーブルオプション (PG) を使用したキャビネットに適合させることもできます。負信号線 (D12 出力の EP5 ピン 4) と SenseDrive 線 (D12 出力の EP5 ピン 5) の接続は、ラウドスピーカーキャビネットの近くのブレイクアウトボックスの中で行ないます。妥協のない SenseDrive のパフォーマンスを実現するため、接続はラウドスピーカーから 3 m (10 ft) 以上離れた場所で行なってください。

2.3 使用

注意!

d&b ラウドスピーカーは、正しく設定された d&b アンプのみをご使用ください。他の使用法ではラウドスピーカーのコンポーネントに損傷を与える恐れがあります。

使用可能な d&b アンプ:

D80/D40/D20/D12/D6/10D/30D/40D.

用途	セットアップ	チャンネル/キャビネット
Yi-SUB	Y-SUB	2

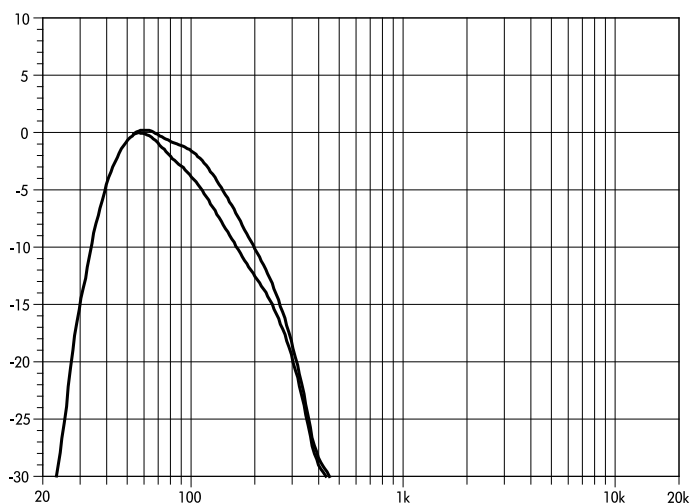
ここで使用可能なアンプ上では、Dual Channel または Mix TOP/SUB モードのコントローラー設定が適切です。

2.3.1 コントローラーの設定

音響調整には、100 Hz 機能が選択できます。

100 Hz 回路

100 Hz 回路が選択されている場合には、システムの動作周波数の上限が 140 Hz から 110 Hz に減少されます。



Yi-SUB 周波数特性 標準、100 Hz モード

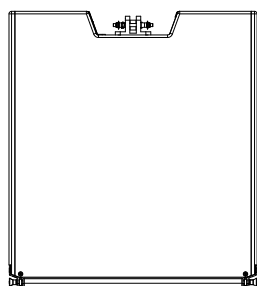
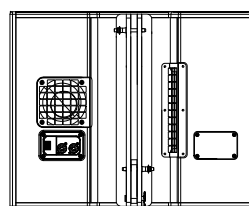
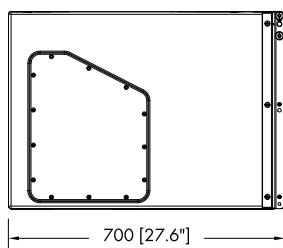
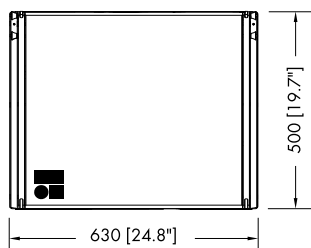
2.4 技術仕様

Yi-SUB システムデータ

周波数特性 (-5 dB スタンダード) 39 Hz - 140 Hz
周波数特性 (-5 dB100 Hz モード) 39 Hz - 110 Hz
最大音圧レベル(1 m、無響音場)
および D6/10D 128 dB
および D12/D20/30D 131 dB
および D80/D40/40D 134 dB
..... (最大 SPL ピーク、テスト信号 CF4 のピンクノイズ)	

Yi-SUB ラウドスピーカー

公称インピーダンス 8 Ω
許容入力 (RMS/ピーク 10 ms) 600/2400 W
コンポーネント 1 x 18 インチドライバー
..... 1 x 12 インチドライバー
コネクター 2 x NL4 M
..... 1 x ネジ端子 (ST - 最大 4 mm ² /AWG 11)
..... WR のオプション : ファストン式コネクター (2 x 6.3mm)
ピン配列 NL4 M : 2+/2-
..... WR オプション : 茶色 + / 青色 -
重量 49 kg (108 lb)



Yi-SUB キャビネット寸法 mm [インチ]



3.1 ラウドスピーカーの EU 適合性 (CE マークについて)

この宣言は、以下の製品に適用されます。

d&b Z0719 Yi-SUB ラウドスピーカー、

製造者 d&b audiotechnik GmbH & Co. KG

この番号で始まる製品バージョンの全てが初期仕様に一致していますが、後に設計または電気技術的変更が行われないことを前提としています。

弊社は、本製品が全て関係条項の EC 指令条項に準拠していることを宣言いたします。

この宣言に関わる詳細な情報は、d&b に注文頂くかウェブサイト www.dbaudio.com からダウンロードすることもできます。

3.2 WEEE 宣言 (廃棄について)

電気及び電子機器を廃棄する際は、必ず他のゴミと分別してください。

本機器を廃棄する時には、お住まいの国や地域の関連する法律や条例に従ってください。廃棄の際に不明な点がある時は、お買い上げの販売店、または d&b audiotechnik までお問い合わせください。

WEEE-Reg. -Nr. DE: 13421928



